

学校行事 平成23年度 2011

前期 First Semester

4月6日	第38回入学式・第17回専攻科入学式
4月7日	始業
4月11日～12日	1年生合宿研修

5月2日	臨時休業(5月14日授業)
5月7日	3高専マッチ
5月19日～20日	情報電子工学科2年生合宿研修
5月21日	専攻科推薦入試

6月7日	開校記念日
6月9日～15日	前期中間試験
6月25日	専攻科学力入試

7月2日	保護者会・後援会総会
7月8日～10日	中国地区高専体育大会(広島高専・津山高専・呉高専)
7月11日	臨時休業
7月16日	校内見学会(第1回)

8月4日～10日	前期末試験
8月9日	専攻科前期授業終了
8月11日	終業
8月15日～31日・9月1日～28日	夏季休業・臨時休業
8月20日～27日・9月3日～4日	全国高専体育大会(茨城高専)

後期 Second Semester

10月3日～6日	補講週間
10月3日～6日	土木建築工学科3年生測量実習
10月7日	クラスマッチ
10月11日	後期授業開始
10月16日	全国高専ロボットコンテスト中国地区大会(宇部高専)
10月22日	専攻科社会人・後期学力入試
10月29日～30日	高専祭
10月29日	保護者会・専攻科説明会
10月31日	臨時休業

11月12日～13日	全国高専デザインコンペティション(釧路高専)
11月19日	校内見学会(第2回)

12月2日～7日	後期中間試験
12月17日	クラブ対抗駅伝・AED講習会
12月22日～23日	全国高専プログラミングコンテスト(舞鶴高専)
12月27日～1月4日	冬季休業

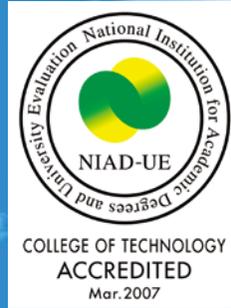
1月5日	始業
1月12日	学習到達度試験
1月21日	推薦入試

2月9日～16日	後期末試験
2月19日	学力入試
2月20日	臨時休業
2月21日	専攻科後期授業終了
2月24日	終業
2月27日～3月18日	臨時休業

3月14日	第34回卒業式・第16回専攻科修了式
3月19日～	学年末休業
3月26日～30日	再試験



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)から認定を受けています。



本校は、平成18年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていることと認定されました。

徳山工業高等専門学校 Tokuyama College of Technology

〒745-8585 山口県周南市学園台

☎(0834)29-6200 代表

学生課 / TEL (0834)29-6232 FAX (0834)29-6161
 総務課 / TEL (0834)29-6208 FAX (0834)28-7605
 ホームページ <http://www.tokuyama.ac.jp/>

〈最新の情報はこちらからご覧ください〉

発行 / 徳山工業高等専門学校総合企画室
 発行日 / 平成23年6月28日

【交通案内】

- 徳山駅前より防長バス
「徳山高専」行き、「高専正門」下車
「久米温泉口」行き、「大学高専下」下車、徒歩10分
- 櫛ヶ浜駅前より防長バス
「徳山高専」行き、「高専正門」下車
- 山陽自動車道徳山東インターから車で5分



2011.6.28 No.16

ゆめふらせん 徳山高専の今



高専は、高専制度創設50周年にあたり、「進化する高専」を標榜し、科学技術創造立国を担う感性と創造性が豊かな実践的技術者の育成を通して、地域社会と国際社会の発展に貢献します。

<http://www.tokuyama.ac.jp/>

徳山高専学生会

環境リサイクル活動

～地域環境から地球環境へ～

2007年ノーベル平和賞は、IPCCとゴア前副大統領が受賞し、地球温暖化の危機が注目されました。NASAゴダード宇宙研究所のJames Hansenは、今が取戻しのきかない限界であるTipping Pointであると指摘し、London School of Economics のNicholas Sternは、このまま温暖化の対策を取らなければ、世界のGDPの20%の被害が想定され、今対策をすればGDPの1%の費用で済むことを有名なStern Reviewで指摘しています。地球温暖化を防ぐことが、現在の人類が抱える重要な課題です。近年の干ばつ、洪水、ハリケーン(サイクロン、台風)等の災害を引き起こす対流圏内の極端気象の現状を沈思すると、地球温暖化の影響がどこまで進んでいるのか懸念されるところです。

3R(Reduce, Reuse, Recycle)活動は、人々の協力とアイデアによってCO₂を削減でき、リサイクル活動は、地球温暖化対策に有益な活動です。徳山高専では平成20年度(2008)より、学生会を中心とした環境リサイクル活動が始まりました。今年度で活動4年目となり、かなり定着してきました。また、本年度の風紀局長、貞廣綺子さん(情報電子工学科4年)は、従来の活動に加え、学生、教職員がリサイクルしやすい環境づくりの整備や、節電にも積極的に取り組みたいと考えています。

徳山高専の環境リサイクル活動とは?

各クラスや研究室、実験室から出されるゴミ以外にも、クラブ活動や学外の方を招いてのイベントなど、ゴミが出る場面はたくさんあります。徳山高専では、学内に5種類のゴミ箱を用意しています。燃えるゴミ・燃えないゴミ・アルミ缶・ペットボトル・スチール缶です。これらのゴミの中で、アルミ缶・スチール缶・ペットボトルの3種類を資源ゴミと呼び、学生会風紀局が中心となって積極的に分別を行っています。学生会風紀局メンバーは、毎週金曜日に搬出された資源ゴミをチェックし、分別状況を学生主事室に報告します。報告を受けた主事室は、きちんと分別できていなかったクラスやその部署の責任者にゴミを返却し、クラスの環境委員(3名/1クラス)が再分別と再発防止の指導を行います。1度も返却が無かったクラスは、環境リサイクル表彰の対象となり、学期末に表彰されるしくみになっています。



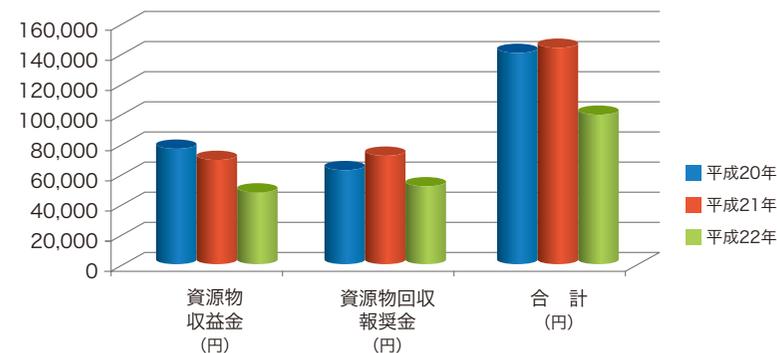
風紀局メンバーによるペットボトルの分別チェック

CO₂削減量142.38kg!ワクチン23人分!!

平成22年度の環境リサイクル活動の成果をCO₂削減量に換算すると、142.38kg。これはブナの木1本が1年間に吸収するCO₂の約14倍!ガソリンなら約62ℓを燃焼させたときに生じるCO₂の量に匹敵します。学生の小さな努力が数字になって現れます。

また、本校で集めたペットボトルキャップは、NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会を通じてポリオワクチンに変えられています。平成22年度は約23人分(18,080個)のキャップを寄贈しました。

さらに、徳山高専学生会は平成20年度より資源回収団体として登録しており、本活動で得た資源物売却代や資源物回収報奨金は、本校の環境整備やリサイクル関連物品の購入に充てられます。下図で、平成22年度の収入が減っているのは、本活動によりゴミの減量化に成功したことを示しています。



平原地区合同環境美化作業

地域環境を疎かにしては地球環境は守れない!今年も徳山高専学生会40名が5月21日に徳山大学と平原地区寿会と合同で環境美化作業を行いました。徳山高専の学生が通学路として利用する道路沿いのゴミ拾い、草引き、草むらに投棄された粗大ごみの撤去を行いました。秋にも徳山高専単独で清掃活動を行う予定です。

分別が優秀なクラスは環境リサイクル表彰へ!



環境リサイクル表彰、創設!

平成22年度の環境リサイクル活動において、ゴミの分別状況が最も優秀だったクラスに、2月28日の合同ホームルームで環境リサイクル大賞が授与されました。この賞は、年間を通して分別のやり直しが1度も無かったクラスに授与されます。今回大賞を授与されたクラスは土木建築工学科2年、情報電子工学科3年、機械電気工学科5年です。(写真は、前期にリサイクル表彰された7クラスの環境委員等)

H22年度 風紀局長のこぼれ

平成22年度風紀局長 倉田 寛子さん(土木建築工学科5年)

活動3年目ということもあり、全体的にリサイクル活動が活発になってきたと感じました。始業式で全学生に呼びかけをし、各クラスの環境委員を集めてリサイクルについて説明したことにより、風紀局のメンバーはもちろん、クラス内でも分別の意識が高まりました。

毎週毎週同じ活動をすることが、最初は私にとって負担が大きかったけど、ゴミのやり直しがゼロになったり、風紀局のみんなや先生方と協力してやっていくことで、達成感が生まれ、リーダーシップの大切さを学びました。地味で大変な作業だけれど、環境のためにも、自分のためにもプラスになることなので、とても良い経験になりました。